

函館市西部地区再整備事業「共創のまちぐらし推進プロジェクト」 第2回企画会議を開催しました

令和3年10月30日（土）に函館市地域交流まちづくりセンターにおいて、26名の参加のもと、令和3年7月10日に開催した第1回会議に続き、函館市西部地区再整備事業基本方針に掲げる重点プロジェクトの一つである「共創のまちぐらし推進プロジェクト」の推進について、当該プロジェクトの方向性・具体的な取り組みなどをはじめ、これからの西部地区ならではのまち暮らしの姿を西部地区に関わる皆様に検討・共有してもらおう場として、第2回「共創のまちぐらし推進プロジェクト」企画会議を開催しました。

■株式会社はこだて西部まちづく Re-Design の概要等について

・株式会社はこだて西部まちづく Re-Design 代表取締役 北山 拓



北山代表から、「(株)はこだて西部まちづく Re-Design (HWeR) 会社概要・事業概要の紹介」(別添資料1)に基づき、当該事業の課題と解決への方向性・果たすべき機能・スキーム等の説明がされた。「この町に今あるものを活かした、新しい「函館(西部地区)ブランド」の Re-Design」を目指し、未来志向の西部地区のまちづくりを、皆様と一緒に進めていきたい。

■空地等の利活用について「大町改良住宅隣空地利活用計画について」

・株式会社蒲生商事 常務取締役 蒲生 寛之



蒲生常務から、大町改良住宅隣空地の利活用について、スライド写真に沿ってご説明いただき、当該地にて株式会社蒲生商事と株式会社はこだて西部まちづく Re-Design の共催で 10/23・24 に開催されたイベント「ローカルマーケット in 大町改良ひろば」によって生み出された成果と、更なる空地の利活用計画について説明された。

今後も大町の物件に限らず、様々なプロジェクトを練り、HWeR に相談していこうと考えている。

(ローカルマーケット in 大町改良ひろば とは)
様々なお店がオープンして活気が出てきている大町改良住宅 1 階。そこに隣接する土地 (広場) の利活用計画を蒲生商事と株式会社はこだて西部まちづく Re-Design が一緒に進めていくプロジェクト。



■共創のまちぐらし推進プロジェクトについて

- ・函館市西部まちぐらしデザイン室 次長 溝江 隆紀
- ・函館市西部地区まちぐらし検討会議 座長 岡本 誠 (公立ほこだて未来大学 教授)



溝江次長から、別添資料2に基づき、基本方針で定める当該プロジェクトの目的をはじめ、取り組みにあたっての市民・まちづくり会社・市の役割や推進体制などの説明がされた。これまでに寄せられた意見の取りまとめをたたき台として、今後皆様と一緒に議論・取り組みを進めていく。

続いて、岡本座長から、別添資料3に基づき、当該プロジェクトのこれまでの経緯をはじめ、各重点プロジェクトとの関わりや当該プロジェクトの今後の進め方等における説明がされた。

とりわけ今年度中に共創のまちぐらし推進プロジェクトの体制づくりの基盤を早急に立ち上げ、事業内容の検討に入り、並行しながらパイロットプロジェクトを実施する。

説明後に参加者と意見交換をし、参加者から「まちづくりに対する市民等の関与の仕方」などの意見が寄せられた。

今後、まちづくりには、地域の人たちが中心になり、地域の特性を生かした取り組みをすることが必要であることから、体制づくりに市民参加の仕組み・位置づけ等も盛り込むこととし、今後具体的に整理することとした。



(集合写真)

(配布資料)

- ・資料1 「(株) はこだて西部まちづく Re-Design (HWeR) 会社概要・事業概要のご紹介
- ・資料2 「函館市西部地区再整備事業 (共創のまちぐらし推進プロジェクト)」
- ・資料3 「函館市西部地区再整備事業 (共創のまちぐらし推進プロジェクト)」 今後の進め方